シラバス（数学科）

I. 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

II. 観点別評価の規準と基準

	規　　準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	十分満足できる		
	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 **【概ね達成率 80%以上】**	数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に着けている。 **【概ね達成率 80%以上】**	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 **【概ね達成率 80%以上】**
B	おおむね満足できる		
	数学における基本的な概念や原理・法則を理解している。 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 **【概ね達成率 35%以上】**	数学を活用して事象を考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し考察する力，数学的な表現を用いて事象を表現する力を身に着けている。 **【概ね達成率 35%以上】**	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 **【概ね達成率 35%以上】**
C	努力を要する		
	数学における基本的な概念や原理・法則を理解しようとしている。 事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりしようとしている。	数学を活用して事象を考察したり，他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察しようとしたりしている。数学的な表現を用いて事象を表現しようとしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

III.　授業の概要

教科	数学科	科目	数学Ⅰ・A				
学科	国際文科	単位数	5（3+2）	年次	1	必履修の別 （必・選必・コース選）	必
使用教科書	新編　数学Ⅰ、新編　数学A、新編　数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	３ＴＲＩＡＬ数学Ⅰ＋Ａ、３ＴＲＩＡＬ数学Ⅱ（数研出版）						

1. 学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 数学ＩＡの学習内容において，基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2.　３観点の評価基準

規　　準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※学習の目標(1)に同じ	※学習の目標(2)に同じ	※学習の目標(3)に同じ
上記の規準に対して，「十分満足できる」場合はA，「おおむね満足できる」場合はB，「努力を要する」場合はCとして評価する		
評　価　方　法		
単元テスト（全10回予定）	定期考査（1学期中間・期末考査， 2学期中間・期末考査，学年末考査）	日々課題，週末課題，振り返り等

3.　学習内容

1学期	・数学Ⅰ　第１章「数と式」 ■　**１学期中間考査（5月中旬）** 　◇ **数学Ⅰ第１章 単元テスト（5月下旬）** ・数学Ⅰ　第２章「集合と命題」 　◇ **数学Ⅰ第２章 単元テスト（６月初旬）** ・数学Ⅰ　第３章「2次関数」 ■　**１学期期末考査（6月下旬）** 　◇ **数学Ⅰ　第３章 単元テスト（７月中旬）** ・数学Ⅰ　第４章「図形と計量」
2学期	◇ **数学Ⅰ　第４章 単元テスト（９月中旬）** ■　**２学期中間考査（9月下旬）** ・数学Ⅰ　第５章「データの分析」 　◇ **数学Ⅰ　第５章 単元テスト（10月初旬）** ・数学Ａ 第１章「場合の数と確率」 ■　**２学期期末考査（11月中旬）** 　◇ **数学Ａ 第１章 単元テスト（11月下旬）** ・数学Ａ 第２章「図形の性質」 　◇ **数学Ａ 第２章 単元テスト（12月下旬）**
3学期	・数学Ａ 第３章「数学と人間の活動」 　◇ **数学Ａ 第３章 単元テスト（１月下旬）** ・数学Ⅱ 第１章「式と証明」 ■　**学年末考査（2月中旬）** 　◇ **数学Ⅱ 第１章 単元テスト（２月下旬）** ・数学Ⅱ 第２章「複素数と方程式」 　◇ **数学Ⅱ 第２章 単元テスト（３月下旬）**

4.　学習方法

○「予習-授業-復習」の黄金サイクルを確立することが大切です。授業前に教科書の例題，練習問題等を読む習慣を身につけましょう。

○単元テストは，各単元の学習が終わる毎に実施され，主に「知識・技能」を評価します。主に教科書の例題，応用例題，問，練習問題から出題され，70点未満の生徒には，再テスト（追試）を行います。

○定期考査は，年５回実施され，主に「思考力・判断力・表現力」を評価します。それまでに課された課題なども含め，授業内容のすべての範囲から出題されます。

○年間を通して，以下のような課題が課されます。これら全体を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価します。丸つけや振り返りなども記入して提出しましょう。

(1) 日々課題「黄金サイクルノート」：１週間分の学習した内容を月曜日の授業で提出します。

(2) 夏休み・冬休み・春休み課題：休み明けに提出します。

(3) テスト後の復習課題：単元テスト後と定期考査後には間違えた問題の復習課題が，模擬試験後には全問解き直しに取り組みます。

○模擬試験の成績は，進級時の「習熟度クラス編成」に加味することがあります。準備して臨みましょう。